5. 就労状況と就業意識

5-1. 職業（Q25-1）

【男性】

【若年独身】及び【継続独身】は「労務・技能職」が3割以上を占め、最も多い。

【若年無子家族】では「専門職」（28.7%）が最も多く、「販売・サービス職」（24.7%）、「労務・技能職」（23.3%）がこれに続いている。

【女性】

【若年独身】は「事務職」「専門職」がそれぞれ28.0%、【継続独身】は「事務職」が34.7%で、最も多い。また【若年無子家族】において「専業主婦」は3割弱（27.3%）であり、7割程度の人は何らかの職業を持っている。具体的には、【継続独身】同様、「事務職」と「販売・サービス職」（各25.3%）が多い。

図表5-1. 本人職業(単数回答)（基数:全体）

(%)

各グループN=150	労務・技能職	販売・サービス職	事務職	専門職	管理職	農・林・漁業・従事	専業主婦	学生	無職	その他
【若年独身】男性	32.0	12.7	10.0	16.7	0.7	2.0	0.0	4.0	14.0	8.0
【継続独身】男性	32.7	8.7	10.0	22.0	6.7	1.3	0.0	0.0	15.3	3.3
【若年無子家族】男性	23.3	24.7	16.7	28.7	4.7	0.7	0.0	0.0	0.0	1.3
【若年独身】女性	5.3	17.3	28.0	28.0	0.0	0.7	0.0	0.7	17.3	2.7
【継続独身】女性	8.0	22.0	34.7	16.7	0.7	1.3	0.0	0.7	13.3	2.7
【若年無子家族】女性	6.7	25.3	25.3	13.3	0.0	0.0	27.3	0.7	0.0	1.3

5-2. 就労形態(Q26-1)

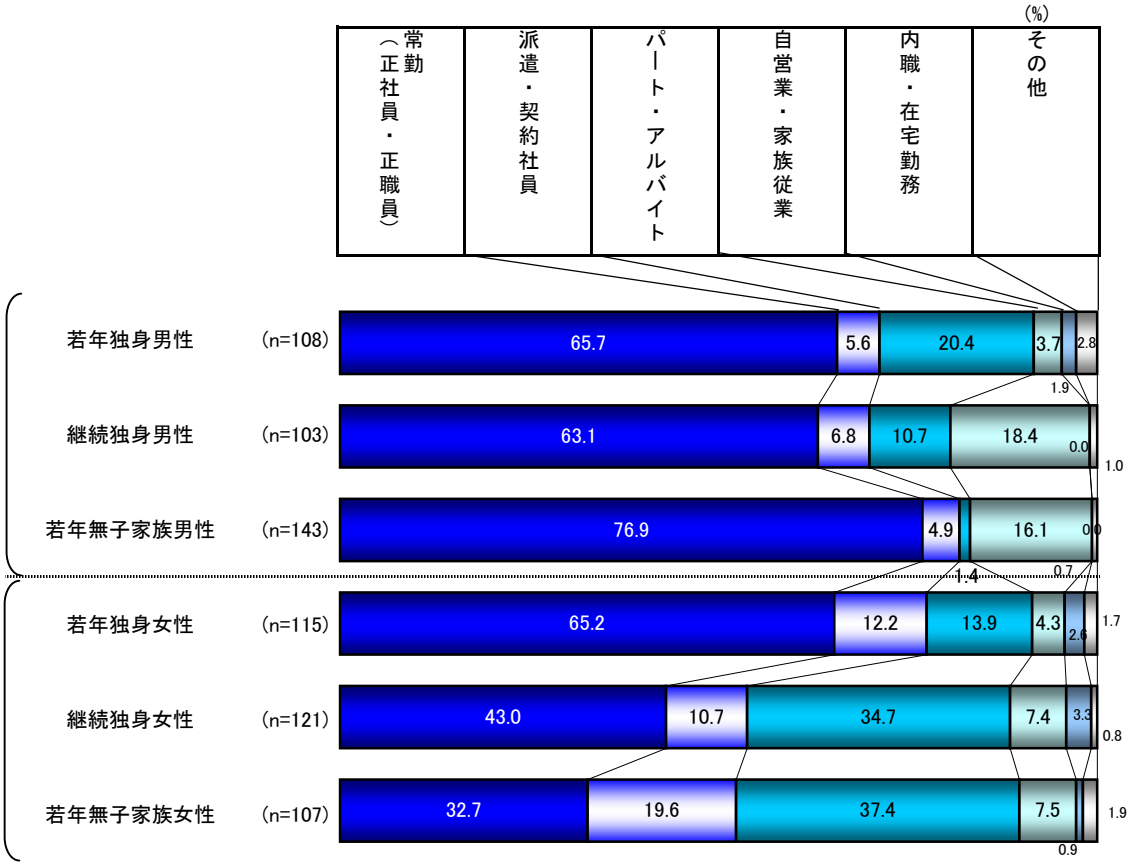
【男性】

【若年無子家族】では76.9%が「常勤(正社員・正職員)」であるのに対し、【若年独身】は65.7%、【継続独身】は63.1%にとどまっている。

【女性】

「常勤(正社員・正職員)」の比率は【若年独身】(65.2%)が最も高く、【継続独身】(43.0%)、【若年無子家族】(32.7%)の順になっている。【継続独身】や【若年無子家族】では、「パート・アルバイト」が3～4割を占めている。

図表5-2. 就労形態(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-3. 本人の就労時間（Q27-1）

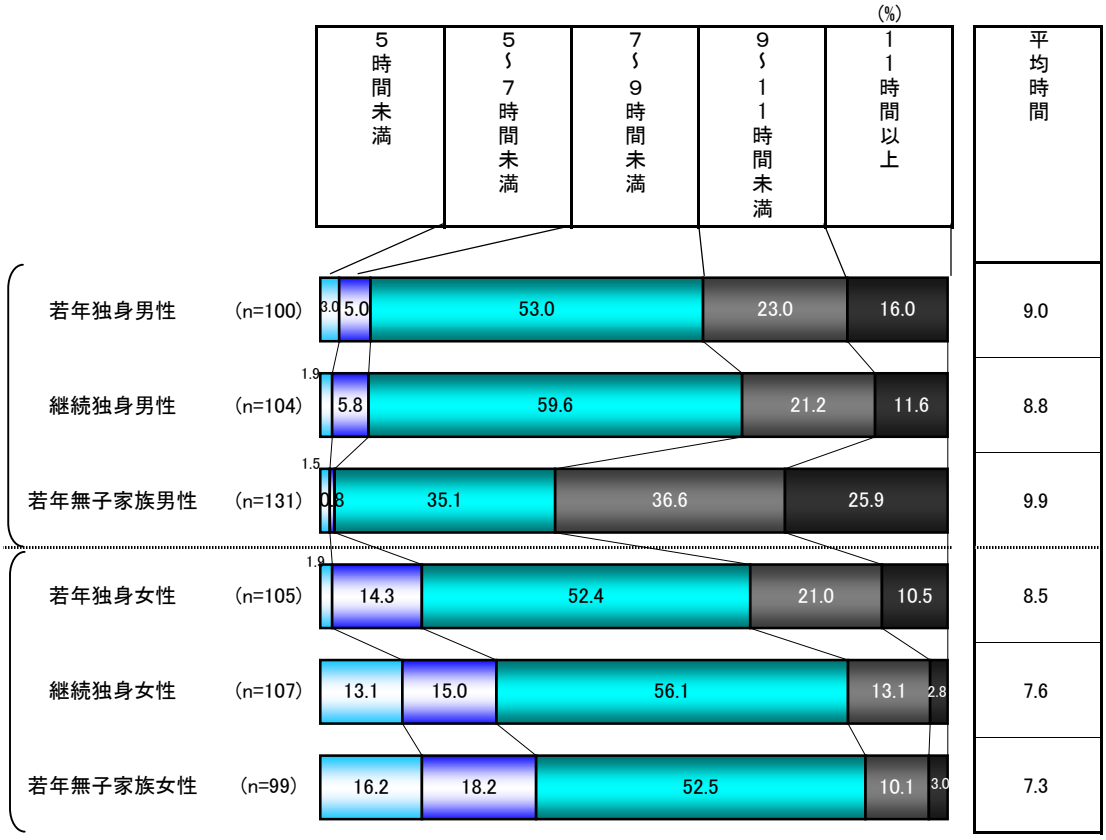
【男性】

労働時間の分布をみると、【若年独身】及び【継続独身】は「7～9時間未満」が5割以上を占め、最も多いのに対し、【若年無子家族】は「9～11時間未満」（36.6%）が「7～9時間未満」（35.1%）を僅かながら上回っている。平均時間は【若年無子家族】（9.9時間）が最も長く、【若年独身】（9.0時間）、【継続独身】（8.8時間）の順になっている。

【女性】

どのグループも「7～9時間未満」が5割を占め、最も多い。ただし、パート・アルバイトの多い【若年無子家族】や【継続独身】では「7時間未満」という人も多く、平均時間は【若年独身】が最も長い。

図表5-3. １日の平均労働時間（単数回答）
（基数：勤労者・無回答を除く）



5-4. 年次有給休暇の取得状況(Q27-②)

年次有給休暇の消化状況をみると、男女とも「消化していない(半分以上＋ほとんど＋全く)」が「消化している(全部＋ほとんど＋半分ぐらい」を大きく上回っている。

特に男性は「消化していない」率が6～7割を占めている。

【男性】

【若年独身】では「ほとんど＋全く非消化」が69.4%と、7割近くを占め、【若年無子家族】(63.9%)【継続独身】(57.3%)に比べて高くなっている。

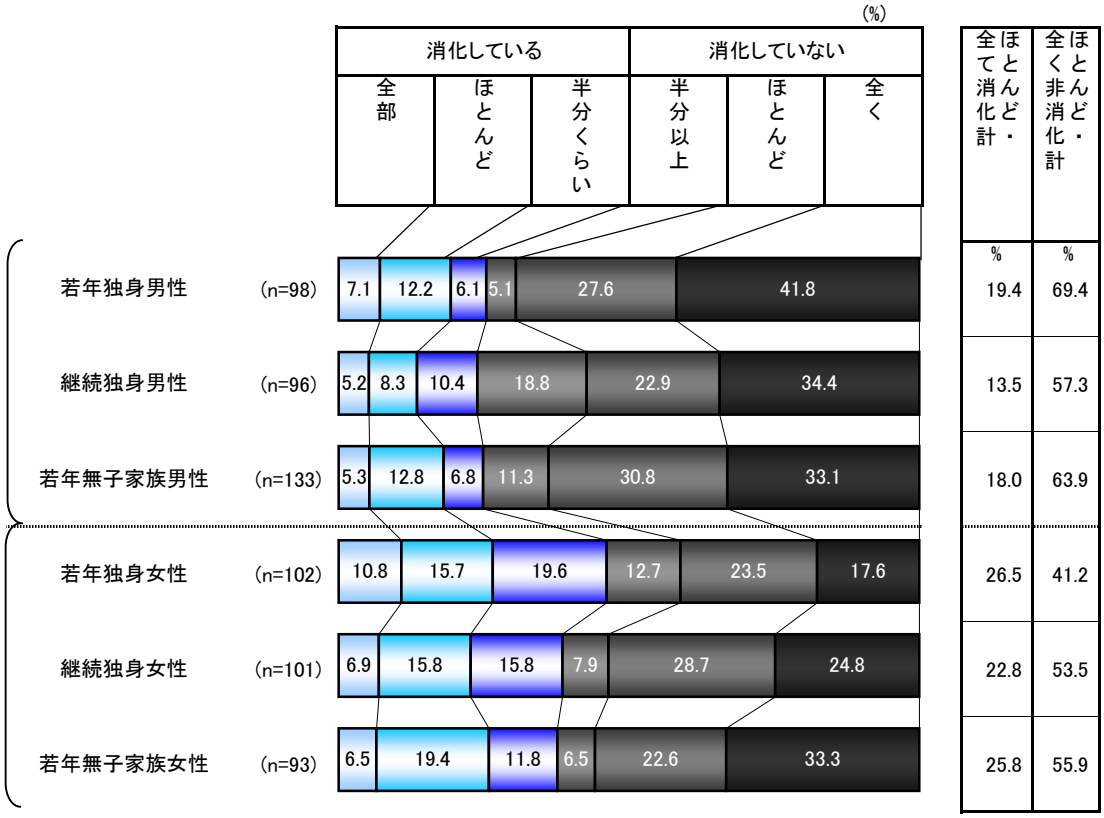
【女性】

【若年独身】は「全て＋ほとんど消化」が26.5%、「ほとんど＋全く非消化」が41.2%で、他のグループに比べて有給の消化レベルは高い。

【継続独身】や【若年無子家族】は「ほとんど＋全く非消化」が半数を超えている。

【継続独身】:53.5%、【若年無子家族】:55.9%)

図表5-4. 年次有給休暇の取得状況(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-5. 現在の仕事と私生活のバランスの状況(Q28)

現在の生活を仕事と私生活にわけ、どちらが中心かについて質問した。

【男性】

「仕事より私生活が中心」と答えた人はどのグループにおいても1割前後で、特に【若年無子家族】で少ない。「バランスのとれた生活」と答える人も2～3割台で、「仕事中心」が半数を超えている。

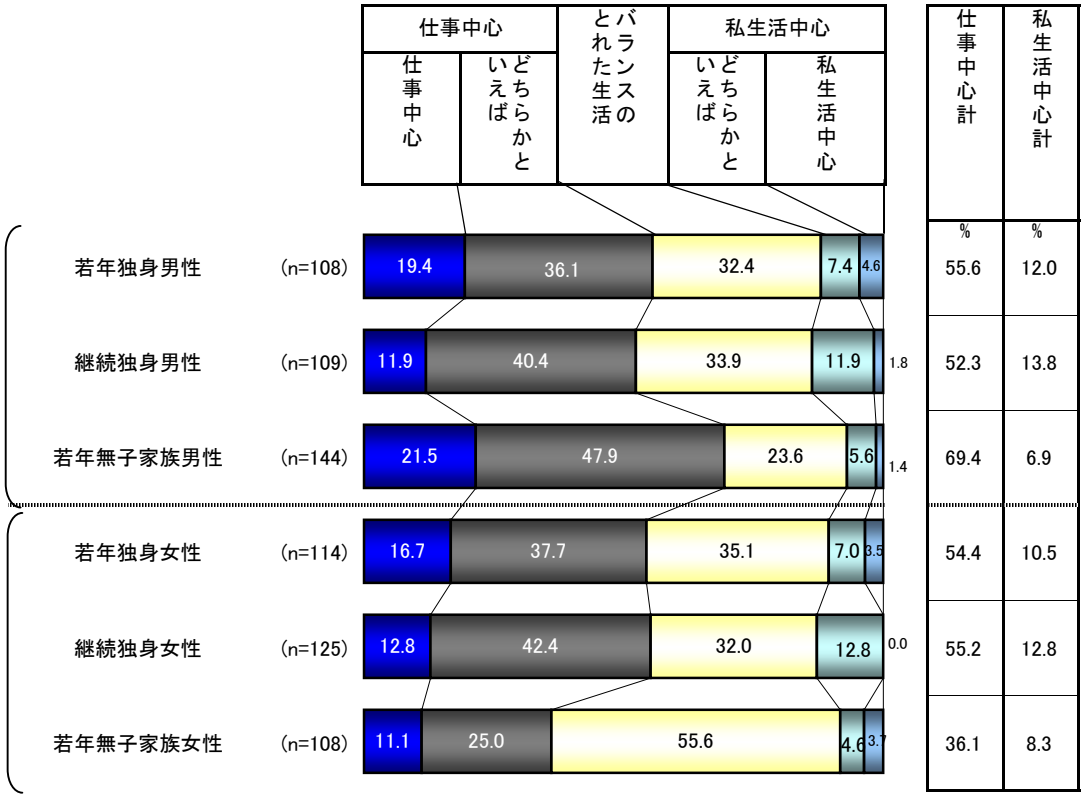
仕事中心派が特に多いのは【若年無子家族】(69.4%)で、【継続独身】(52.3%)との間に差がみられる。

【女性】

【若年無子家族】はバランス派が55.6%と最も多いが、独身グループは仕事中心派が半数強を占め、対照的である。

図表5-5. 現在の仕事と私生活のバランスの状況(単数回答)

(基数:勤労者・無回答を除く)　(%)



5-6. 仕事の充実度(Q29)

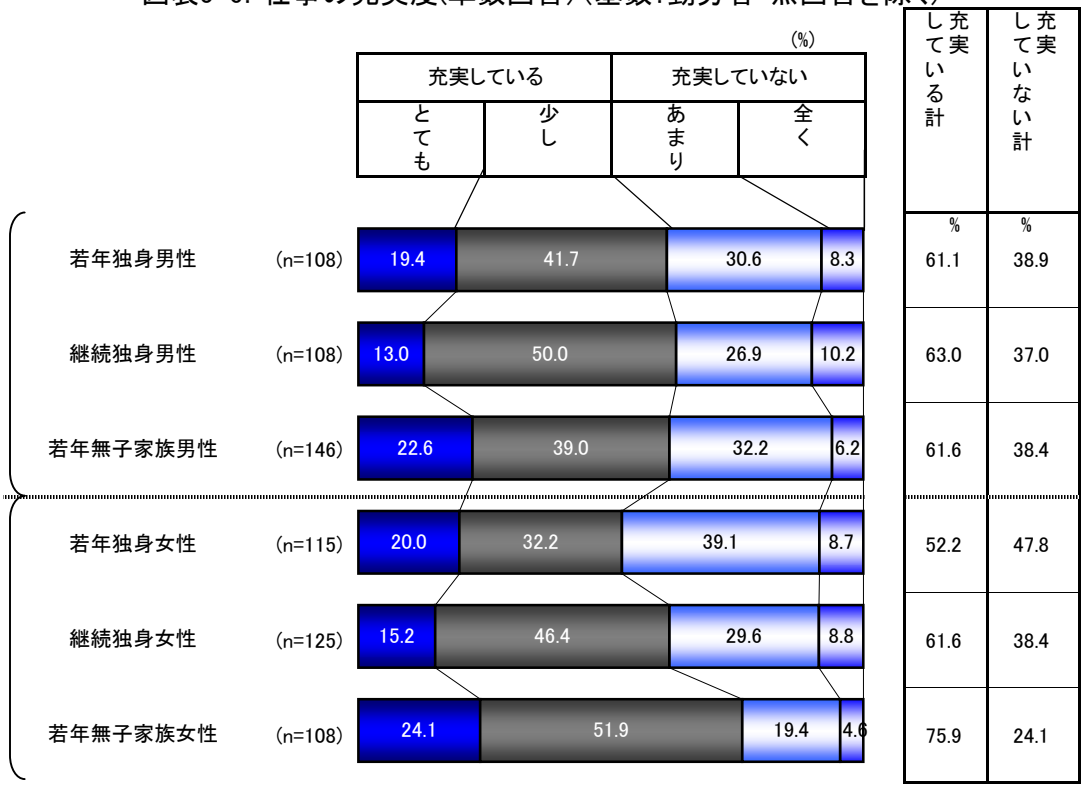
【男性】

どのグループも6割強が「充実している」と答えており、差は見られないが、積極的に肯定している人が多いのは【若年無子家族】である。

【女性】

男性とは異なり、グループ別の違いが顕著である。仕事の充実度が高いのは【若年無子家族】で、75.9%もが「充実している」と答えている。相対的に充実度が低いのは【若年独身】である。但し、このグループでも半数強は「充実している」と答えている。

図表5-6. 仕事の充実度(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-7. 仕事継続意向時期(Q30)

【男性】

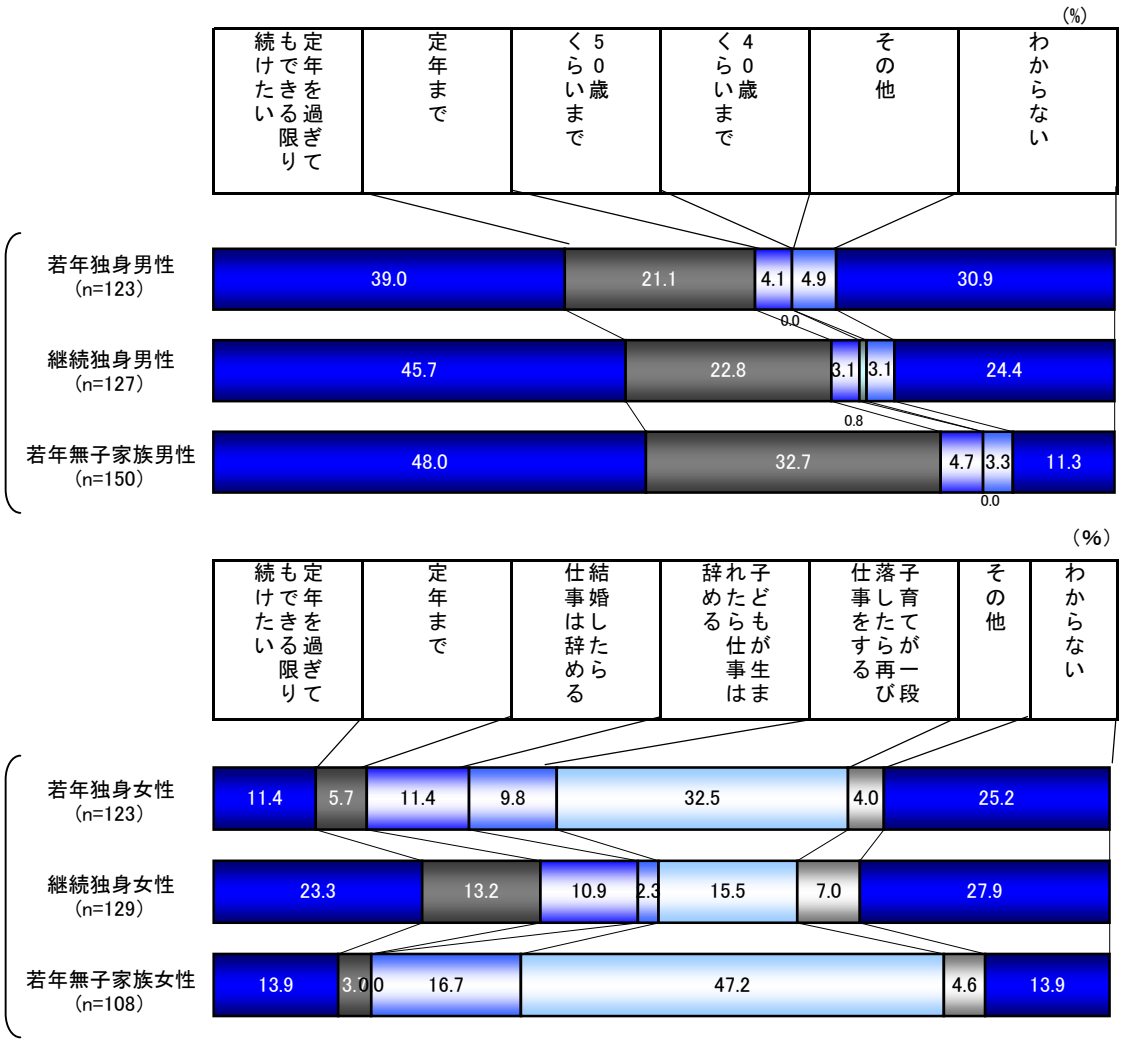
独身グループでは「わからない」という回答が2～3割を占め、【若年無子家族】に比べて将来設計が明確になっていない人が多い。【若年無子家族】では「定年を過ぎてもできる限り続けたい」が5割弱と多く、「定年まで」(32.7%)がこれに続いている。

【女性】

男性同様、女性でも独身グループでは「わからない」という回答が3割弱を占めている。【若年独身】及び【若年無子家族】では「子育てが一段落したら再び仕事をする」が最も多い。

これに対し、【継続独身】では「定年を過ぎてもできる限り続けたい」(23.3%)と「わからない」(27.9%)という人に分かれる。

図表5-7. 仕事継続意向時期(単数回答)(基数:勤労者)



5-8. 働いていない理由(Q31)

【男性】

「求職中だが就職先がみつからないから」が【若年独身】及び【継続独身】で半数以上を占めており、最も多い。

この他、【継続独身】では「自分の健康に不安があるから」、「自分の能力に合った仕事が見つからないから」という理由を挙げる人もみられる。

【女性】

【継続独身】、【継続独身】では「求職中だが就職先がみつからないから」と「自分の健康に不安があるから」の2つが高い。

一方、【若年無子家族】では、目立って高い項目がなく、「家にいるのが楽しいから」が19.5%で最も高くなっている。

図表5-8. 働いていない理由(複数回答)(基数:学生以外の非勤労者)

(%)

	男性		女性		
	若年独身 n=21	継続独身 n=23	若年独身 n=26	継続独身 n=20	若年無子家族 n=41
家事や育児などで忙しいから	0.0	0.0	15.4	5.0	17.1
求職中だが、就職先が見つからないから	52.4	52.2	38.5	45.0	17.1
自分の健康に不安があるから	19.0	30.4	30.8	40.0	17.1
家にいるのが楽しいから	9.5	4.3	15.4	15.0	19.5
経済的に働く必要がないから	0.0	8.7	0.0	15.0	12.2
自分の能力に合った仕事が見つからないから	9.5	26.1	11.5	35.0	9.8
仕事以外に趣味等でやりたいことがあるから	9.5	8.7	7.7	10.0	12.2
自分の能力に不安があるから	14.3	21.7	11.5	15.0	7.3
配偶者や家族の反対があるから	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8
働くことや、社会的関係が好きではないから	4.8	13.0	15.4	5.0	9.8
働きに見合う収入の仕事が見つからないから	9.5	4.3	3.8	10.0	4.9
その他	14.3	17.4	15.4	25.0	26.8
特に理由はない	9.5	0.0	0.0	5.0	2.4

＊男性の若年無子家族はn=2のため割愛